

豊岡市社会教育基本計画（案）に関するパブリックコメントの結果と回答について

「豊岡市社会教育基本計画（案）」に関するパブリックコメントを実施したところ、14件の意見をいただきました。貴重な意見をいただき、誠にありがとうございました。いただいた意見の概要及び意見に対する市の考え方は、次のとおりです。

1 パブリックコメントの実施概要

(1) 実施期間

2024年4月17日（水）～4月30日（火）

(2) 閲覧方法

ア 市公式ホームページ

イ 市役所教育委員会社会教育課窓口

ウ 各振興局地域振興課窓口

2 パブリックコメントの実施結果

(1) 提出者 5人

(2) 提出件数 14件

3 意見の概要と意見に対する市の考え方

・「社会教育基本計画」に関する意見のみ掲載しています。

・いただいた意見は事務局で項目分けをしています。また、一部表現（文言）を変えて表記している箇所があります。

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
1 基本理念について		
1	基本方針の「自分づくり」「生きがいがづくり」「つながりづくり」→「まちづくり」に関しては、その3つの手段は、各関連部署や団体に誤解を生む言葉かと思えますので、前提条件に「行政がなすべき」を徹底していただきたく思います。その前提条件の徹底と施策案の事前吟味がないと、従来ごとく「趣味」「過剰」「ダブリ」「惰性」「その場しのぎ」の施策が横行すると思えます。また、社会教育は「ひとづくり」にはなっても「まちづくり」にはならないので結論は飛躍しすぎかと思えます。	<p>国の中央教育審議会答申において、地域における社会教育の意義と果たすべき役割として、「社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくり」が示されており、本計画では、その方向性を踏まえ、本市の社会教育のめざす姿を理念として定めました。学びや活動を通じた「自分づくり」「生きがいがづくり」「つながりづくり」によって、個人が知識や経験を増やし、それを地域に生かす、まちづくりの力となり、まちづくりに寄与することをめざしています。</p> <p>また、本計画を推進していくには、行政だけでなく、地域住民、地域、地域にある組織や団体、家庭、学校が互いに連携・協働して取り組んで行くことが不可欠と考えています。さらに NPO 法人、大学、企業など、新たな連携や協働を検討したいと考えています。</p>

2 施策について	
2	<p>ソフト面・ハード面ともども急速に社会環境が変化している現在、全年代において「社会教育」は必要だと感じています。しかしながら、市など行政が提供される「社会教育」においては、公費を使われるので過剰であってはなりませんし、ダブリがあってはならないと思っています。</p> <p>特に「自己学習」の範疇と「市による社会教育」を明確に区分していただきたいと思ひます。従来より市の多様な関係課により、様々な「社会教育」の施策を実施されてきたかと思ひますが、ほぼ「小学生以下の子ども」と「高齢者」対象の“楽しい”だけの、その場しのぎのレクレーションや賑やかなイベントばかりで、これは果たして「社会教育」なのかと疑問を持ち続けているのも事実です。</p> <p>特に「生涯学習サロン」の設置による、高齢者の陶芸・木彫・麦わら細工・書道・絵画などの講座や夏休みに親子で参加する陶芸・木彫の体験教室の開催は最たるもので、これらは明らかに「社会教育」ではなく「趣味」です。こういった「自分づくり」「生きがいくくり」という名の公費の過剰投資はお辞めいただきたいと思ひます。</p>
3	<p>今回の「社会教育基本計画」においては関連各課の施策を教育委員会社会教育課が中心となって取りまとめ推進されることですので、施策のダブリや無駄・抜け、そして特に行政と地域コミュニティとのダブリや無駄は省いていただきたいです。</p>
4	<p>社会人は会社で教育を受けられる方も多いですが、生活保護受給者は自分で勉強をしないとイケなくて大変です。生活保護受給者も教育を受けられるようにしていただきたいと思ひます。</p>
5	<p>スマートフォンを持っている方はオンラインで教育を受けられたらと思ひます。スマートフォンを持っていない人は地区のコミュニティセンターに集まって講座を受けるなど。</p>
6	<p>高齢者にはスマホや SNS の使い方や今どきの防犯対策やハラスメント対応など、また、子どもたちには地域を深掘り・視野を広げるといった学校では習わない、「現社会を生きるにあたって、この地域ではなかなか自己学習では入手できない必要なアップデート情報・知識を提供する」社会教育を提供してもらいたいです。</p>

ご指摘いただきましたように、行政による社会教育関連施策の実施にあたっては、ニーズとともにその必要性を精査し進めていきます。

また、社会教育課が関連部署の取組等の情報を取りまとめ、施策の重複がないか、不足しているところがない等、情報共有を行いながら進めていきたいと考えています。

P14「1 基本理念」に記載しているとおおり、学びや活動に参加しにくい状況にある人や学びたくても学べない人たちなど誰一人取り残されることのないよう、広く情報提供を行うとともに様々な学習機会の提供に努めていきたいと考えています。

施策の実施にあたっては、ニーズに応じた、多様な手段を検討します。

具体的なお提案をいただきありがとうございます。今後、社会の変化等に対応した社会教育施策の実施を検討させていただきます。

7	<p>明らかに成人に対する「社会教育」が皆無に近い状態です。成人に対するデジタルリテラシー・リカレント*・リスクリングはもとより、社会環境を鑑み知識や能力をアップデートする社会教育が必要だと感じています。</p> <p><small>*リカレント教育とは、学校教育を修了した後、社会人が再び学校等で受ける教育のこと。職業から離れて行われるものか、職業に就きながら行われるものかを問わず、職業に必要とされるスキルを身につけるためのリスクリングや、職業とは直接的には結びつかない技術や教養等に関する学び直しを含む概念として用いている。(第4次教育振興基本計画)</small></p>	<p>ご意見いただきましたように、社会の変化等に対応するため、成人の学び直し（リカレント教育）の機会の提供は必要であると認識しています。</p> <p>また、芸術文化観光専門職大学では市民公開講座が開講されています。</p> <p>今後、情報収集と情報提供に努め、連携などを視野に検討を進めたいと考えています。</p>
8	<p>豊岡市内全体で外国籍の子どもたちを集め、日本語教育をする機関などの整備も必要だと思います。市をあげて外国籍の子どもたちの教育に力を入れて、安心・安全に暮らせるまちだと外国の方々にも認識してもらう必要があります。</p>	<p>本市では、多文化共生推進プランを策定し、「暮らしやすいと感じている外国人市民が増えている」状態をめざし、コミュニケーション支援、生活支援、意識啓発と地域づくりの取組を実施しています。外国にルーツを持つ子どもへの教育支援については、日本語教育の充実を図るため、市内全域を対象として転入者等への無料の日本語教室や地域日本語教室を案内する等の取組を実施しています。引き続き、日本語教育等の教育支援の充実をめざし、取組を進めていきます。</p>
<p>3 推進体制について</p>		
9	<p>P19以降に「2 関連分野における具体的な取組」があり、分野ごとに取組とその課題が書いてありますが、課題をみると、ほぼ全てに人問題が書いてあります。「指導者が不足しており、その育成が必要です」「人材確保の課題があります」「参加者が減少しています」など。方向性としては良いとは思いますが、どの自治体も人材の奪い合いなのが事実だと思いますし、奪い合いせずにごうやうやうエコシステムを成り立たせるか考えないといけません。その方向性さえもなく「課題です」と書いてあるだけでは、その課題を誰が解決するのだろうかと思います。</p>	<p>本計画の基本理念としました「学びや活動による『自分づくり・生きがいがづくり・つながりづくり・まちづくり』の推進」の実現に向けて、市全体で取組を進めていく必要があると考えています。行政だけでなく、地域住民、地域、各種関係団体など多様な主体と連携・協働しながら課題解決に向けて取組を進めていきます。</p> <p>また、本市では、社会教育に関連する分野ごとに計画等を策定し取組を進めており、今後、各部署において本計画の理念を踏まえ施策や取組を行っていきます。</p>
10	<p>ライフスタイルの変化や価値観の多様化に対応しなくてはならない、情報発信の方法を変えなければならないなど、世の中の変化に対応しながら、今までの社会教育の手法を変えていく必要性が説明されていますが、24ページ以降「1 推進体制」ところにある、推進会議の委員の方々は、新しい変化を起こせるようなメンバー構成なのでしょうか。委員の方々が偏った分野の人々で構成されているのは、新しい発想を起こすのは無理があるように思います。もちろん、社会教育の話なので、教育関係から出てこられる委員の方が多いのは当然であり、必要と思いますが、ブレーンとなる方々の属性に偏りがあっては、新しいものはうまれにくくのではないでしょ</p>	<p>「推進会議（仮称）」につきましては、ご意見を参考にさせていただき、有意義な会議となるよう委員構成を検討させていただきます。</p>

	うか。もっとビジネスとして街づくりやイベントを扱っている企業や、マーケティングやPRを扱う企業、子どもや大人向けの教育を扱っている企業、または、そのような学識経験者のような人々を委員に入れることで、今の時代に合った事業の提案ができるのではないのでしょうか。	
11	豊岡市社会教育基本計画策定委員会の委員は、市内を中心とした義務教育・障害者・高齢者・人権・アート・スポーツの専門家で構成される予定のようですが、成人対象の社会的知識を向上させる教育に関する識者が欠けているようです。過去から現在に至るまで、市としてできていない、もしくは圧倒的に不足している事項に関しては、市外の成功事例をお持ちの識者を委員として招聘すべきだと思います。加えて、市外の有識者の不在とともに、それ以前に民間の識者が一切いないことに、このままの委員構成では委員会が偏った「社会教育の方針」を出されないか危惧します。	社会教育基本計画策定委員会の委員の任期は、本計画の策定をもって終了となります。今後、設置予定としております「推進会議（仮称）」につきましては、ご意見を参考にさせていただき、委員構成を検討させていただきます。
4 計画（案）全体について		
12	そもそも目標値も設定されていません。どの程度の目標を目指すのか書いていないと、それについて振り返りようもないのではないのでしょうか。目標値を設定した方がよいのではないかと思います。	本市の社会教育を進めていく上で、めざす姿やその方向性を明確にすることが重要であると考え、今回、めざす姿を理念として掲げる「理念計画」を策定することとしました。目標値の設定については、計画策定の過程において議論を行い、社会教育の達成度を数値で計ることが難しいこと、本計画が理念計画であることを考慮し目標値を設定しておりません。 また、他の関連諸計画においても目標値を設定しているものがありますが、本計画の理念を社会教育関連施策の指針として計画策定（改訂）や施策に取り入れていくこととします。
13	計画はよくわかったのですが、具体的な内容が書かれておらず、いつまでに、何をしていくなどの計画はないのでしょうか。理念だけが決まった状態で具体的な内容はこれからでしょうか。	
5 その他		
14	「中高生時代を豊岡で楽しく過ごす」中高生に関する提案 ・多様なサードプレイス（第3の居場所）づくりの支援 ・中高生の移動の支援（移動、交通問題が多様な学びや活動の機会を阻害している）	貴重なご意見をいただきありがとうございます。参考にさせていただきます。